

# 足音

十一月四日

石巻中一年

学年通信No.三十四

編集・発行

鈴木 孝明

## 成長を見せる

文化祭、新人戦、そして合唱コンクールと、この二学期はたくさん行事を駆け抜けてきました。

しかし、まだイベントは続き、来週の十一月七日(月)には3ブロック合同現研ということで、石巻中学校区の小学校の先生方が、この石巻中学校の授業を参観に来ます。名目は先生たちの授業の研修会ですが、来られた先生方は、きっとみんなの姿を楽しみにしていることでしょう。あの子は今、どうなっているのかなど。

中学校に入学してから七カ月余りでこんなにも成長したんだという姿をぜひ見せてください。

個々の成長、ということ言えば、来週にはも



う一つ重要なものがあります。というか始まりです。

第四回定期テストのテスト週間です。

今回は、学期末ということで、第二回と同じく九教科のテストです。五教科の時とはまた違った大変さがあることは、みなさんすでに経験済みですね。

その時の自分がどうだったかを、今一度思い出してみましよう。

まずは、各教科の提出物。教科の数が増えるということは、必然的に提出物も増えます。第二回のテストでは、それを終わらせるのに必死で、それだけでテスト週間が終わってしまったという人もいたことでしょう。その反省をぜひともいかさなければなりません。

やることが多いなら、その分時間を多くしなければなりません。しかし、テスト週間の期間は変わりません。したがって、自分で時間を生み出さなければなりません。その時間はどこにあるか。

今です。この週末です。

テスト週間を待っている必要はありません。

今からできることをやっていくことです。テスト範囲についても、これまでの経験から大体の予想がつくはずですが、教科の先生にきけばそれとなく教えてくれるはずですが、そういうのを先に先に進めておくことが、テスト週間中の学習の充実につながるでしょう。

一通り提出物を終えた先に、本当の意味での自分にとってのテスト勉強が始まります。課題を終わらせることがテスト勉強ではありません。大切なはその先です。そして、そこで身に着けていく勉強の仕方こそ、先々の自分にとつたりは進路を拓くかぎとなるものです。

学習内容を自分のものとして覚えるにはどうやればいいのか。何回くらい繰り返し返せば定着するのか。それは人によって違います。したがって、こうしたテスト週間を使って、自分自身の勉強の在り方を身に着けていくことがこれからは極めて大切になります。それが、進路へ向けた大きな財産となります。

結果はもちろん大切ですが、そこに至るまでの学習過程、その勉強方法に一度重点を置いて取り組んでみましよう。